

国際シンポジウム

「マイノリティ状況と共生言説」

2010年3月9日(火)

13時～18時30分

名古屋大学文系総合館7階

カンファレンスホール

主催：名古屋大学大学院国際言語文化研究科

助成：日本学術振興会

【講演】

王 建新 (中国中山大学社会学人類学学院教授)

15:50～16:50

「唐汪川—中国臨夏における
多民族コミュニティの文化共生」

呉 世榮 (ソウル大学名誉教授)

17:05～18:05

「韓国マイノリティ文学としての移民文学」

【発表】

田所光男 (名古屋大学大学院国際言語文化研究科) 13:10～13:30

「マイノリティの多義性」

磯部美里 (同大学院国際言語文化研究科博士後期課程) 13:30～14:00

「継承する身体、順応する身体—中国・西双版納タイ族の
名付け式における「祝詞」を事例として」

六鹿桂子 (同大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程) 14:00～14:30

「中国チベット族の一妻多夫婚—妻たちの出身村からの考察」

姜 信和 (愛知大学非常勤講師) 14:30～15:00

「複層的マイノリティ表象としての在日コリアン詩の可能性」

布施 哲 (名古屋大学大学院国際言語文化研究科) 15:15～15:45

「マイノリティの連帯と政治理論」

連絡先：科学研究費補助金基盤研究 (B)

「20世紀における多様なマイノリティ状況の解明と共生言説の検討」グループ

田所光男 (tadokoro@cc.nagoya-u.ac.jp)